

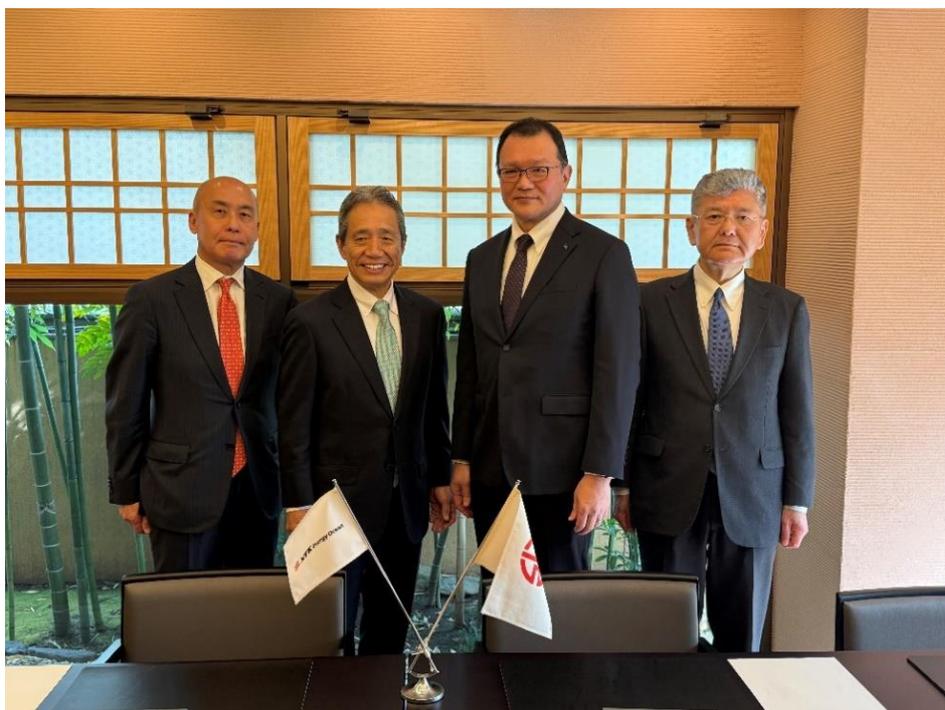
2026年3月25日

各位

NYK Energy Ocean 株式会社

新造船（LPG 燃料推進 LPG/アンモニア運搬船）の造船契約調印式について

NYK Energy Ocean 株式会社（以下「当社」）は、川崎重工業株式会社と新造 LPG 燃料推進 LPG/アンモニア運搬船の建造契約の締結に合意し、2月27日に契約調印式を執り行いました。



（写真左から、当社取締役 常務執行役員 平野正人、代表取締役 社長執行役員 力石晃一、川崎重工業株式会社 執行役員 エネルギーソリューション&マリンカンパニー 船舶海洋ディビジョン長 荻野剛正氏、エネルギーソリューション&マリンカンパニー 船舶海洋ディビジョン 上席理事 営業総括部長 齋藤祥一氏）

当社が川崎重工業株式会社に発注した新造船の概要は次のとおりです。

<新造船概要>

全長	約 230.00m
幅	約 37.20m
深さ	約 21.90m
夏期満載喫水	約 11.60m
カーゴタンク容量	約 86,700 m ³

本船は 2028 年に竣工する予定で、低炭素なエネルギーとして既に活用されている LPG と、脱炭素社会の新たな燃料として将来的に活用が期待されるアンモニアの運搬が可能です。また、当社既存船と同様に世界の主要 LPG ターミナルに適合するよう設計されます。

本船には、従来の低硫黄燃料に加え、排気ガス中の硫黄酸化物 (SOx) や二酸化炭素などの排出量を大幅に削減可能な LPG も燃料として使用できる二元燃料エンジンを搭載します。LPG を燃料とすることで SOx 規制^{※1}および EEDI フェーズ 3^{※2}に適応します。

脱炭素社会の実現へ向けて再生可能エネルギーの需要が高まる中、当社は今後も幅広い低・脱炭素燃料の利用を通じ、脱炭素化の推進とクリーンな輸送の実現を目指します。

※1 SOx 排出規制：

2015 年 1 月から欧米の排出規制海域 (ECA) において、燃料中硫黄分 0.1%以下の SOx 排出量規制が実施された。また、2020 年 1 月からは、その他の世界の全海域を航行する船舶に対し、燃料中の硫黄分が 0.5%以下の燃料を使用するか、排ガス中からの SOx を同等に低減する代替装置を使用することが義務付けられた。

※2 EEDI (Energy Efficiency Design Index) 規制：

1 トンの貨物を 1 マイル運ぶ際に排出される CO₂ のグラム数として定義されるエネルギー効率設計指標 (EEDI) を用いて新造船の省エネ性能の規制値への適合を強制する国際規制。EEDI 規制値は建造契約日と引渡日に応じて段階的に強化されている。大型 LPG 運搬船や LNG (液化天然ガス) 運搬船など一部の船種では、2022 年以降の建造契約船からフェーズ 3 (基準値 (フェーズ 0) から 30%の CO₂削減) が要求されている。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

NYK Energy Ocean 株式会社

総務人事部 総務グループ TEL : 045-286-6410 [担当 : 荒木]